

一人乗り人力車ノ論

現今田舎ノ地方馬車不通ノ野徑二人車ヲ快駛スル、之ヲ古ノ篋輿ニ比スル遙ニ匹適スルヲエズ、カヲ用ル半ヲ過キズ、功ヲ奏スル相倍蓰セリ、簡易輕便ナル固ヨリ無論ト雖、雨日ニ当テハ独遺感ナキアタハス、如何トナレバ油紙ヲ取テ車を蓋ヒ、前面小孔ヲ穿ツ者アリ、又不穿者アリ、其穿ツ者モ空氣ヲ交換セル程ノ者ニアラザレバ、車上ノ客ハ公然油紙ノ密閉中ニ踞シ、自己ノ噴出スル炭氣ニ感シ、忽精神ノ爽快ヲ失ナヘリ、此レハ一時ノ煩悶ナレド、若シ之レカ媒介ヲ成シ他日肺病或敗血病ノ諸症ヲ起サバ其害無限也、之ヲ救ノ法則二人乗ノ如屋形ニ製スルカ、又車中ノ兩傍ニ方七寸ノ窓ヲ穿チ、斜雨ノ衝キ来ルハ疎簾ヲ垂レ、淋雨ノ索漠タルハ簾ヲ捲テ眺望ニ備ヘ簾ノ卷舒ハ客ノ自由ニ任セ、而シテ空氣ヲ交換セシムルヲ要ス、其製作價ヲ増スト雖、全ク人ノ健康ヲ傷害スルニ至テハ何ソ價ヲ顧ルニ忍ンヤ、儉頃日脚痛ヲ患ヒ屢車夫ヲ雇ヒ親ク情実ヲ得テ立論獻言セリ、右製造法検査ノ上御施行奉祈候、

献白書

中島郡狐穴村並行学校教員

明治十年五月九日

武山儉（印）

岐阜県権令小崎利準殿

(語句)

野径(やけい)・・野原の中の小みち。

人車(じんしゃ)・・人力車。

篋輿(べんよ)・・編んだ竹で周囲を囲った輿(こし)。たけごし。

倍蓰(ばいし)・・数倍であること。

踞し(きよし)・・腰をおろす。

卷舒(けんじよ)・・巻くこととひきのばすこと。伸縮。

頃日(けいじつ)・・このごろ。

屢(しばしば)・・たびたび。